

本箱

本学の先生方が執筆された新刊情報

(価格は税別)

中川 純子(ドイツ語学科非常勤講師)著

『音読で学ぶドイツ語単語集』

郁文堂 2023年6月 2200円



そのまま読み物としても楽しめるドイツ語情報満載の学習書。自然で日常的な155個の例文に、初級の語彙と文法を凝縮しています。QRコードから音声でも学習可能です。

四元 康祐(言語文化学科非常勤講師)著

『シ小説・鏡膠』

澤標 2023年7月 1800円



「詩は小説とめぐり会えるか?」……「シ小説」は「詩小説」にして「私小説」、そして仄かに「死小説」。過激で、面白くて、やがて切なき現代文学の奇妙な果実を堪能する一冊です。

M.ビティヒ(ドイツ語学科准教授)著

『Tsukamoto Koichi-Mein Lebenslauf』

IUDICIUM Verlag 2023年8月 22€



世界的な女性下着メーカー「ワコール」。戦後日本の経済復興の一端を担うべく、女性下着にその使命を託した創業者がその40年を語った『私の履歴書』のドイツ語版です。

前沢 浩子(英語学科教授)共訳

『Savoir&Faire 土』

岩波書店 2023年8月 2700円



自然素材に関わる知識・技術の共有を目指すエルメス財団の社会貢献プログラム、スキル・アカデミーの書籍化。カラー図版も多数取り入れ、「土」という身近な素材に、陶芸、建築、歴史など様々な切り口から迫ります。

佐藤 勘治(言語文化学科教授)分担執筆

『歴史との対話 ―今を問う思索の旅』

彩流社 2023年8月 2300円



歴史研究者から読者へ贈る、史資料を読む思索の回路を伝える試み。資料を通じて歴史に思いをはせる歴史学者たちによる12編のエッセイが、歴史読解の奥深さと意味を垣間見させてくれます。

前沢 浩子(英語学科教授)編注、
(ウィリアム・シェイクスピア著)

『じゃじゃ馬ならし』

大修館書店 2023年9月 3000円



言わずと知れた大作家による喜劇。学問の都パデューを舞台として、乾いた知性と熱いエネルギーが混じり合い、現代社会に対しても多くの問いを投げかけています。原文と対注で読める一冊です。

加藤 一彦(国際関係法学科非常勤講師)著

『教職教養憲法15話(改訂五版)』

北樹出版 2023年9月 2000円



教職に必要とされる人権感覚を培うために人権論を中心に論述する、法学部以外の学生も理解できる憲法学のエッセンス。いじめ、住民自治などの現代的な内容を加筆修正しています。

加藤 一彦(国際関係法学科非常勤講師)著

『憲法(第四版)』

法律文化社 2023年9月 3500円



憲法学を修得するための体系的教科書。全編にわたって通説をベースに丁寧に概説しつつ、新規判例と法令を加え、憲法略史や最新動向を踏まえて増補した改訂版です。

浅岡 千利世(英語学科教授)分担執筆

『Cultivating professional development through critical friendship and reflective practice: Cases from Japan』

Candlyn & Mynard 2023年10月 US\$29.99



教育者の専門性向上について質的研究アプローチを用いて論じた一冊。教育者同士が批判的仲間として対等な関係性を結ぶことの重要性について、日本の事例を中心に論じています。

小島 優生(言語文化学科教授)分担執筆

『スクール・コンプライアンス研究の現在』

教育開発研究所 2023年10月 2800円



教育行政、学校経営、学校教育……多様性が叫ばれる現在、教育現場は様々な問題・観点から、コンプライアンスが求められます。そんな教育の現在とこれからの探る研究書です。

藤山 英樹(国際環境経済学教授)著

『ゲーム理論からの社会ネットワーク分析』

オーム社 2023年10月 3200円



構造に注目してトップダウンで理解する社会ネットワーク分析と、人々に注目してボトムアップで社会を理解するゲーム理論を一度に学べます。中心性とナッシュ均衡の奇跡的な出会いが見所です。

屋間 良次(学生会総務部長室事務課職員)分担執筆

『方言漢字事典』

研究社 2023年10月 2700円



全国に存在する「方言漢字」120字を収録。宮城県の「鯉(とど)」、東京都の「砧(きぬた)」など、特定の土地や姓、風物に見られる地域性を帯びた漢字を取り上げ、現地調査と豊富な資料に基づき解説しています。

古田 善文(名誉教授)共著

『図説 オーストリアの歴史(増補改訂版)』

河出書房新社 2023年11月 2200円



時に戦乱の舞台として、時に文化の中心として歴史に現れた、多層的で光と影が混じり合うオーストリアの歴史を、多数の図版と共に解説する一冊。ウクライナ問題を含む近年の動きを追加した増補改訂版です。

上村 敏郎(ドイツ語学科教授)、伊豆田 俊輔(ドイツ語学科准教授)共訳、(ロバート・ダーントン 著)

『検閲官のお仕事』

みすず書房 2023年12月 5000円



「検閲とは何か?」その答えは、国家や時代によって異なります。書物を生み出す力の一つである検閲の正体を3つの政治体制下での生産から流通をたどることで解き明かす、野心的な一冊です。

獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。なお、価格は税抜表記としております。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。